

（概要版）

・資料3-2：健全化会議における昨年度の取組結果

・資料3-3：第2期行動計画の目標達成状況と取組の進捗状況

----- 〈各項目の記載内容〉 -----

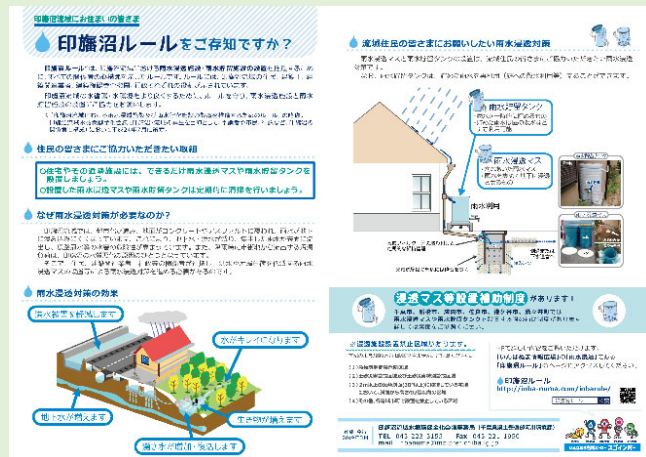
この資料は資料3-2、資料3-3、に掲載している内容を概要としてまとめたものです。

詳細は各資料をご確認ください。

雨水の貯留・浸透機能を保全・再生します（浸透WG）

①雨水浸透マスの設置普及

- ・広報啓発チラシや流域市町の補助制度等を活用した設置普及



▲印旛沼ルールに関するチラシ

②貯留・浸透施設の普及

- ・雨水貯留・浸透について、先進的な取組を行っている他地域の事例収集
- ・生態系保全の視点や、治水の視点を持つ市民・市民団体との連携の可能性や意見交換会の実施について検討

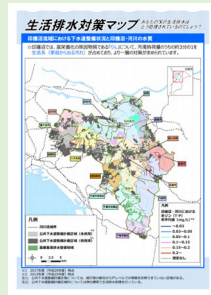
③調整池を活用した市街地面源負荷削減の推進

- ・調整池改良の候補地の検討
- ・ため池の改良による市街地面源負荷対策の検討

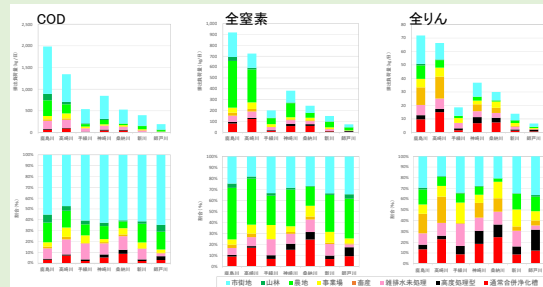
家庭から出る水の汚れを減らします（生活排水WG）

①千葉県全域污水適正処理構想での取り組みの着実な実施

- ・より効果的、効率的な生活排水対策を検討するため、各地域における排出負荷量等の継続して整理
- ・現状の下水道供用開始区域の追加や凡例をわかりやすくする等して改良した生活排水対策マップを活用した啓発



▲生活排水対策マップ（展示用パネルとして準備）



▲流域別・発生源別排出汚濁負荷の状況（平成30年度）

②生活排水中からのりんの削減

- ・生活排水パンフレットの作成（継続実施中）

③浄化槽の適正管理の推進

- ・浄化槽の維持管理に関する啓発チラシの活用
- ・浄化槽法改正を踏まえた情報整理
- ・生活排水対策に関する勉強会の開催

ふるさとの生き物をはぐくみます（生態系WG）

①エコロジカル・ネットワーク形成の推進

- ・石神川河川改修事業（魚道設計）への環境配慮事項の提案支援：事業主体（県）が整理した魚道整備方針により、魚道設計を実施
- ・桑納川・神崎川流域勉強会の検討

②治水上のリスク低減に向けたナガエツルノゲイトウの管理

- ・地域連携による継続的な駆除活動の実施（桑納川・神崎川）
- ・ナガエツルノゲイトウ駆除後の勉強会

河川名	実施日	参加者数	処分量
桑納川	6/8（土）	108人による一斉駆除	約2.8 t
	9/6（金）	51名による継続駆除	約3.7 t
神崎川	8/8（木）～8/10（土）	のべ437人による一斉駆除（※IVUSAとの共催による駆除）	約9.1 t



▲駆除活動の実施

環境にやさしい農業を推進します（農業WG）

①JA富里市・ちばエコ農産物生産者との意見交換

- ・JA富里市及び生産者の意向の把握
- ・農業と印旛沼の繋がりについての情報共有

②ちばエコ農産物のPR

- ・店舗でのPOP掲示
- ・イベント出展（ちばエコ農産物の認知度調査も実施）



▲ちばエコ農産物のチラシ

▲ブース設置の状況

③生産者講習会の実施

- ・農業生産者を対象とした講習会を実施



▲講習会資料

▲講習会の実施状況

川や沼の水環境を改善します（水水合同会議）

①水辺エコトーンの整備（底泥浚渫）

- ・師戸地区において、H29、H30に実施した底泥浚渫を評価（浮泥を効果的に沼外に持ち出すことが可能であることを実証）
- ・大規模展開な展開に課題であり、広範囲の浚渫を行える工法の検討が必要（今後検討）

②水辺エコトーンの整備（浚渫土を利用した植生帯整備）

- ・土浮東：浚渫改良土を用いた整備として3つの植生基盤整備パターンを設定・整備
- ・臼井田：突堤を整備し、突堤背面に土砂が自然堆積し、水辺のエコトーンになることを期待して整備

③水草の系統維持

- ・第1期で再生した貴重な水草等を、中央博物館や系統維持拠点で継続的に系統維持を実施

④水水合同会議の開催

- ・水水合同会議を開催し、今年度の取組方針を確認



＜植生帯整備箇所＞

取組テーマ	実施事項	今年度の取組方針（案）
水辺エコトーンの再生（沼内対策の検討・実施）	底泥浚渫	－
	植生帯整備	・植生帯整備の実施・評価 ・モニタリングの実施 ・既存植生帯整備箇所の評価 ・既存整備箇所の維持管理・モニタリングの検討
水草の系統維持	系統維持拠点の維持管理	・継続して実施：中央博、八代1、甚兵衛大橋、臼井田1
第3期計画等の検討		・既存整備（植生帯、浚渫）の評価 ・第3期、第3期以降の取組内容の検討
水水合同会議		年1～2回を予定

水害からまちや交通機関を守ります

①河道の整備、計画堤防高さの維持

- ・印旛沼の築堤整備は、計画堤防高及び堤防幅を確保している延長は現在約2割になっている。
- ・鹿島川及び高崎川は、概ね10年に1度発生する洪水規模で河川整備を行っている。



▲印旛沼築堤完成状況

- ・県の管理する桑納川・石神川では、概ね10年に1度発生する洪水規模で河川整備を行っている。

②貯留・浸透施設の整備状況

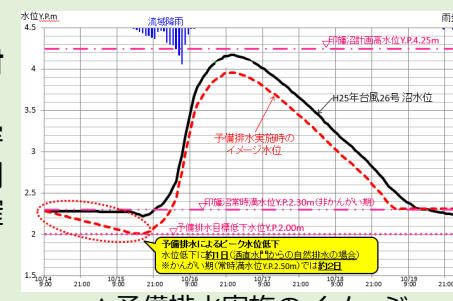
- ・県では流域内の県立高等学校18校のうち10校の整備が完了している。船橋市で市立小中学校18校のうち8校、佐倉市で市立小中学校4校のうち2校が整備が完了している。

③治水に配慮した

水位管理の検討

- ・「第11回印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議」での確認事項

（R2.5.14）

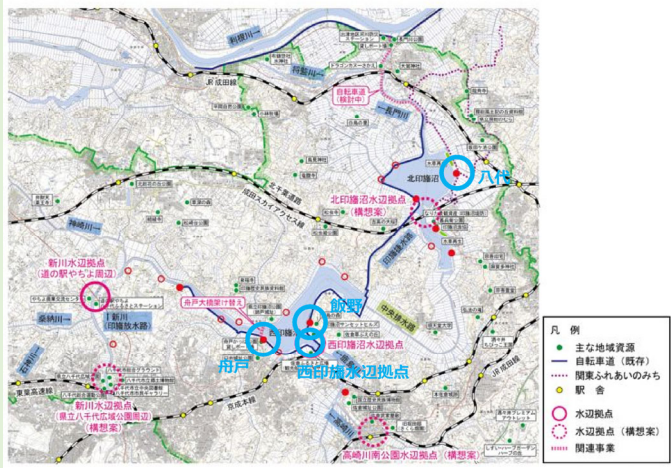


▲予備排水実施のイメージ

水辺を活かした地域づくりを推進します (水と地域のネットワークWG)

①水辺拠点・一里塚整備の推進

- 水辺拠点・一里塚整備の実施
- かわまちづくり計画の変更：計画期間を平成34年度までとし、期間内に実現可能な箇所内容を変更



▲一里塚・水辺拠点整備の位置図

②水辺活用方法の検討

- 水辺活用に関連する取組や取組を進めるにあたって活用できる制度の活用事例を収集
- 勉強会の企画検討：かわまちづくりや水辺活用について、最新の事例や動向に詳しい講師や意見交換のテーマ等を検討

③企業・市民団体との連携方法の検討

環境学習を活発にします（学びWG）

①学校における環境学習の支援

- 全国小中学校環境教育研究大会（千葉大会）へのブース出展、環境学習指導案集（試作版）の配布
- チラシ配布による印旛沼環境基金助成金事業やちば環境学習応援団の周知



▲ブース設置の状況

②環境学習に取組む教員への支援

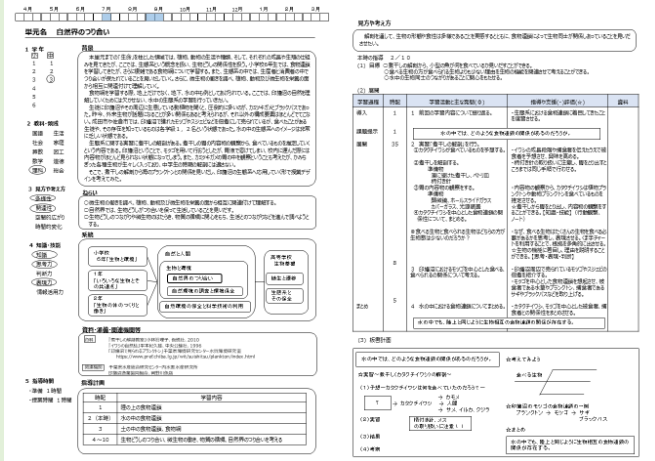
- 教員研修会の開催
- 流域小中学校の教員が参加する作業部会（全4回）における環境学習指導案集の作成
- 環境学習指導案集を活用した公開授業の実施

③支援体制の充実・市民の学びの推進

- 教員研修会におけるチラシ配布、環境学習指導案集の説明
- 流域小中学校へのチラシ配布
- 酒々井中央公民館での印旛沼講座の開催

④学びWGの開催

- 2019年11月実施
- 今年度の取組方針を確認



▲教員向け環境学習指導案集（表紙案・目次・指導案）

共感を広げ、多様な主体との連携・協働を推進します

●イベント等を通した広報

- 大和田機場 春の一般開放
- いんざい環境フェスタ2019
- エコメッセちば
- 第17回印旛沼流域環境・体験フェア（中止）
- 令和元年度富里市産業まつり
- 第22回ニューリバーロードレースin八千代
- 第38回佐倉朝日健康マラソン大会（中止）



▲いんざい環境フェスタ ▲エコメッセちば ▲マラソン大会での配布チラシ

●第17回印旛沼流域環境・体験フェア

開催に向けて、市民企画部会（4回）および環境体験フェア検討委員会を開催した。



▲チラシ ▲プログラム

●WEBサイトによる情報共有 「いんばぬま情報広場」を通じた情報共有の実施

印旛沼・流域再生大賞

◆第8回大賞

選考委員による事前審査、選考委員会での投票結果により3団体が再生大賞を受賞した。



▲選考委員会の様子

●池内恒夫氏

→プログ「池ちゃんと印旛沼」による啓発活動

●坪井湿地を復活する会

→坪井のヘイケボタル復活計画

●二重川に親しむ会

- 1.二重川の清掃活動及び散策路草刈り・植栽植樹の管理
- 2.水質検査により、水環境の関心を高める。年1回実施（みずとみどり研究会全国調査）

◆第9回の実施状況

第9回再生大賞は4月27日から7月3日まで募集を行い、2団体からの応募があった。今年度も事前審査、選考委員会（書面開催）にて受賞者を決定する。



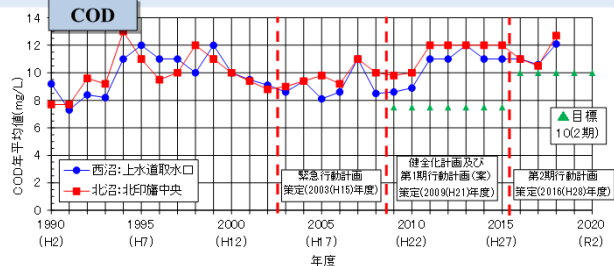
▲第9回再生大賞チラシ

第2期行動計画の目標達成状況

◆計画目標の達成状況

●水質（未達成）

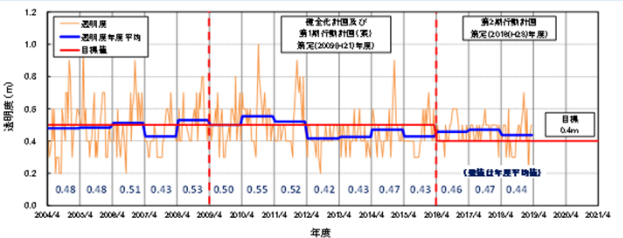
CODは西沼・北沼ともに目標値よりも高い値であり、目標を達成していない。



▲水質（COD）の推移

●清澄性（達成）

上水道取水口下の透明度は、観測回で変動はあるが、年平均では0.44mとなり、目標（0.4m）を上回った。ただし、時期によっては、透明度が0.2m程度まで低下することがある。



▲透明度の推移（上水道取水口下）

◆取組目標の達成状況

- 雨水浸透マスの設置基数、ちばエコ農産物の認知度、WEBサイトのアクセス数は第2期行動計画の目標を達成した。
- 貯留・浸透施設の整備量、透水性舗装の整備面積、生活排水処理率、流域で開催されるイベントとの連携による広報件数の項目は、2018(H30)年度目標を達成となっている。

重点対策群	取組指標	現状 2016(H27) 年度	第2期行動計画目標 2016(H28)～ 2020(H32)年度	2018(H30) 年度実績	第2期行動計画 達成度合 50% 60% 100%
①雨水の貯留・浸透機能を保全・再生します	1 雨水浸透マスの設置基数(基)	112,134基	143,640基 (31,506基増)	146,431基 (34,297基増)	108.8%
	2 貯留・浸透施設の整備量(箇所)	489箇所	1,780箇所 (1,291箇所増)	1,248箇所 (759箇所増)	58.8%
	3 調整池改良の実施数(箇所)	5箇所	6箇所 (1箇所増)	5箇所 (0箇所増)	0.0%
	4 透水性舗装の整備面積(㎡)	437,398㎡	560,590㎡ (123,191㎡増)	534,389㎡ (96,991㎡増)	78.7%
②家庭から出る水の汚れを減らします	1 生活排水処理率(%)	92.7%	94.8% (2.1%増)	93.9% (1.2%増)	57.1%
	③環境にやさしい農薬を推進します	2016(H28)モデル地域：42.4%	1.2倍 (8.6%増)	51% (8.6%増)	100.0%
④川や沼の水環境を改善します	1 水辺エコトーンの再生	—	整備方法の確立	検討実施中	—
⑤ふたとの生き物をはぐくみます	1 特に重要な箇所における保全・再生取組箇所数(箇所)	0箇所	5箇所	0箇所	0.0%
	2 ナガエツノリ/ナイロウによる災害の解消	0箇所	1箇所	排水ポンプ運転停止による災害の発生は無し	—
⑥水害からまちや交通機関を守ります	1 河道整備延長(m)	5,337m	7,995m ^{※1} (2,658m増)	138m (鹿島川)	13.7%
⑦水辺を活かした地域づくりを推進します	1 水辺拠点等の整備箇所数(箇所)	1箇所	25箇所 ^{※2} (24箇所増)	3箇所 ^{※3} (3箇所増)	12.5%
	2 ソフト施策の実施数(施策)	4施策	11施策 ^{※2} (7施策増)	6施策 ^{※3} (2施策増)	28.6%
	3 河川敷地の占用件数(件)	0件	3件	0件	0.0%
⑧環境学習を活発にします	1 水環境をテーマとした環境学習実施学校数(校)	69校	増加	49校	—
⑨共感を広げ、多様な主体との連携、協働を推進します	1 流域で開催されるイベントとの連携による広報の件数(件)	11件	61件 (50件増)	40件 (29件増)	58.0%
	2 WEBサイトのアクセス数(アクセス)	2,429アクセス/月	4,000アクセス/月 (1,571アクセス増)	4,158アクセス/月 (1,729アクセス増)	110.0%

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

いんばぬまご当地にーロー

スゴインバー

キインバー

アカインバー

ミドインバー

アオインバー

モモインバー

スゴインバーの夢

キインバー

性格

のんびり楽道家

キインバーの夢

印旛沼・流域の農産物や水産物を、たくさんの人に食べてもらい、環境にやさしい農業が広がること

アオインバー

性格

クールだけど...たまに怒る

アオインバーの夢

印旛沼・流域の川の水質がよくなること

アカインバー

性格

元気でおおざっぱ

アカインバーの夢

印旛沼・流域で、スポーツ・レジャー、観光をたくさんの人に楽しんでもらうこと

モモインバー

性格

辛口だけど...実はやさしい

モモインバーの夢

印旛沼・流域のことをたくさんの人に知ってもらい、たすけあい広がること

ミドインバー

性格

研究熱心で物静か

ミドインバーの夢

たくさん生き物がすむ印旛沼・流域になること

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★